高松空港

【実施主体：個社】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
		委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先との契約金額に値上げを反映し実施済み。（継続）	
		契約元への受託料引上げ交渉の実施	小型機等の燃料給油量の少ない機体への給油に関する手数料の値上げを行った。	
		ご契約先に対する値上げ折衝（受託料の引き上げ）	各契約先に対して値上げ折衝を行い引き上げを実施	
		ハンドリング手数料の引き上げ	航空会社にハンドリング手数料の引き上げをお願いした。	一定額の引き上げはあったが、必要な原資については開きがある。 必要な原資が得られれば労働条件の改善へと繋がるため継続的に依頼している。
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項やキャンセル料条項の導入を検討・実施中。	
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。検査場のレーン数に応じ総括責任者の配置も支払い対象化。	
		委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋げられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。（継続）	
		契約元へキャンセル発生時の取り扱いについて交渉実施	航空機への給油予定が入り人員等を配置したが、突然キャンセルや給油無しとなった場合のスタンバイ料の設定を行った。	

【実施主体：個社】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	実働（検査時間）での検査料金から拘束時間での検査料金へ変更出来ないかを要望する。	令和6年度より一部請求対象範囲が拡大された。	
		受託ハンドリングにおける契約の適正化	キャンセル料や一定期間の保証を契約に盛り込んで頂くよう依頼している。	契約への反映には至っていないが、ある程度保証があれば減収の補填や社員の労働条件の改善にも対応していけるため継続的に依頼していく。
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
		オフィススペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。	貨物棟事務所の改修工事をFY23に実施済。FY25以降も順次対応予定。
		警備業全体で保安検査の現状を報告	CABからの警備業全体に対する要望書の提出があり、弊社でも要望を提出した。	要望書は提出したが、回答に関してはまだ届いていない。
		災害時に拠点空港となる為、事務所を耐震構造に建て替えの検討等を施設会社に要望している。	各関係機関へ建て替えの要望をお願いしている	
		オフィス環境の改善	航空会社に老朽化したデスク、ロッカー等の更新を依頼している。	近日中にオフィスの什器等の入替が行われるため、リクルート活動やモチベーションの向上が期待される。
		女性社員が働ける環境整備	女性社員も働ける環境として事務所内における更衣室、トイレ等の整備が必要であるため、事務所の所有者に対して建て替え等の整備を要望している。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
		委託先社員数や労働時間の定点的な情報収集	委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。（継続）	
		職員負担軽減と業務効率化	補助金を活用したポケトークの配備により、空港のチェクインカウンターにおける外国語旅客対応の円滑化ならびに旅客一人当たりに要する接客時間の短縮による業務の効率化・省人化を実施。	

【実施主体：個社】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	個人面談を行い現状の把握	個人業務分担表の作成	
		職務分担表を作成	職務分担表を更新し、一定の職員に集中していないか確認実施	
		コミュニケーションの促進	定期的に社員と懇談会やONE On ONEミーティングを行っている。 また、航空会社と適宜情報交換を行い、ダイヤ調整等連携した取り組みを行っている。	一部の社員に負荷かかる状況を組織的に把握し、いち早く対応すれば離職率を下げる効果が見込めるため継続して取り組んでいく。
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	自社グループの応援出向を受入れ	自社グループより応援者を要請、勤務者の業務量の調整を行っている。	勤務時間の平準化が出来た。
		ダイヤ調整の実施	日々のダイヤにおいて高負荷となる時間帯が多く集中しないように、航空会社と定期的にダイヤ調整を実施している。	安全性や定時性の確保、また離職防止のためにも継続的に取り組む。
		勤務体制の見直し	運航便に合わせ勤務体制の変更を行い、集中する時間帯の負担軽減を図った。	
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用） 等）	総代理店合同企業説明会の実施	総代理店各社と人財課題につていの意見交換を実施し、オンラインでの合同企業説明会を実施。	
		採用情報サイトの活用 任期制自衛官の募集	採用情報サイトへ掲載を行った。 各地域の自衛隊援護課へ求人を出している。	
		採用強化	インターネット（就職サイト）等を拡充し、採用を強化している。	会社全体で応募人数が増えている。
		リファラル採用制度の実施	リファラル採用制度を活用し採用活動の強化を促進	
		経験者を含めた採用の通年化	地元で再就職を希望する経験者の採用。 新卒・中途採用者の積極的な採用。	前職で取得した資格を維持し、早期の現場投入が可能となるため継続的に取り組む。 人材不足を出来るだけ回避するため適宜採用を行っていく。

【実施主体：個社】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	空港保安検定取得に向けた教育の強化	本社警備部と連携し、資格取得計画表を作成、受講対象者に対し、実技、座学、模擬テストを実施し、合格率を上げる。	現時点で6名受講し、4名が合格した。
		自社航空管理規程を改訂	自社航空管理規程の教育基準の見直しを実施	
		訓練生に応じた実務訓練（OJT）の実施	訓練生の成長具合を見極め、成長の早い者は集中的に訓練（OJT）を実施し期間短縮に努めている。	訓練生の能力に応じた訓練は早期の独り立ちに効率的である。
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	自社規定の見直し実施	教育カリキュラムの短縮を行い、資格発令が早く行えるよう改善を行った。	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	ワンマン用脚立の導入	A320/321の作業は、2人で実施していたが、ワンマン用の脚立を導入することで人員繰りの効率化を図った。（現在、国内線のみ）今後、各航空会社がA320/321の導入が見込まれる為、ワンマン用脚立の増設が必要	
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。IT環境の整備、暑さ対策等を順次実施。	
		カスタマーハラスメント対策の推進	ANAグループとJALグループ共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
【中期】	職場環境改善に向けた取組の推進 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	オフィススペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。	貨物棟事務所の改修工事をFY23に実施済。FY25以降も順次対応予定。
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：個社】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自治体や空港ビルとの連携	保安検査、給油、CIQなどの当社受託領域以外の調整状況についても必要に応じ確認しつつ受託準備を実施。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し（保安検査における長い拘束時間の見直し　等）	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	
	個別取組事項	グラハン業界団体設立への動向把握	グラハン業界団体設立について航空会社を通じて進捗を確認している。	団体の設立は業界全体に影響があるため動向には注視している。 継続して確認していく。

【実施主体：空港会社等】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	空港内の労働環境の改善	供用休憩室の整備	グランドハンドリング業務に従事する従業員の職場環境の改善を目的に貨物ターミナルビル内における共用休憩室の整備を実施した。	空港業務を担う人材の処遇改善
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動（空港短期の合同ツ説明会　等）	空港合同採用サイトの開設、お仕事紹介パンフレットの作成・配布	空港関係事業者の求人を掲載する合同採用サイトを開設。 将来的な空港の人材確保を目的として、空港のお仕事を紹介するパンフレットを作成し、香川県内の高校生へ配布した。	高松空港採用ホームページ https://www.recruit-takamatsu-airport.com/
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備　等）			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体：地方自治体】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化（人員体制等の正確な現状把握　等）			
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局（観光、産業振興　等）と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援　等）			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致（交通部局と観光部局との緊密な連携）			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体：国】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理　等）	空港関係者等が抱える課題等の把握及びベストプラクティスを参考に解決策の検討と情報共有	空港事務所において、空港関係者等が抱える課題等について積極的に把握に努め、解決できる課題等は解決策を検討し、必要に応じ関係者間で情報共有等を図る。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）	空港イベント事業への参加による情報の発信	空港会社が主催する空港イベントにおいて、航空管制官教室を実施するなど、空港で従事する職員の業務のPRを実施。	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助　等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金	空港会社が主催する高松空港グランドハンドリング等連絡会に国として参加し、空港関係者が提案する補助金の活用に対し積極的に賛同する。	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	ありがとうポスターの普及	空港業務に従事する方が『この仕事に意味がある』と実感できるよう作成されたポスターを空港事務所の廊下に張り出し、空港事務所職員に対して周知・徹底を図りその実施を促す。	
【短期】	空港WGの活用推進	空港WG等への参加等による情報の共有	空港会社が主催する高松空港グランドハンドリング等連絡会に国として参加し、また空港事務所において主催する高松空港利用者利便向上協議会などにおいて、空港関係者等に対して空港内における課題等について情報共有等を図る。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港運営会社と連携し、空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】	更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX／DX　等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の活用推進	空港運営会社とも連携し、航空・空港関係者の人材確保・育成等、生産性向上に資する取組や国際線の受入環境高度化の推進に係る補助事業を事業者に紹介するなど、補助金制度の活用を推進した。	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	空港WG等への参加等による情報の共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、高松空港グランドハンドリング等連絡会を通して航空・空港関係者に対し情報共有等を図る。	

【実施主体：国】

高松空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	空港WG等への参加等による情報の共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、高松空港グランドハンドリング等連絡会を通して航空・空港関係者に対し情報共有等を図る。	
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	空港WG等への参加等による情報の共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、高松空港グランドハンドリング等連絡会を通して航空・空港関係者に対し情報共有等を図る。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し	空港WG等への参加等による情報の共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、高松空港グランドハンドリング等連絡会を通して航空・空港関係者に対し情報共有等を図る。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理（職員数、年齢構成、年代別年収、離職率　等）	空港WG等への参加等による情報の共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、高松空港グランドハンドリング等連絡会を通して航空・空港関係者に対し情報共有等を図る。	